

# 平成27年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：総務事務センター  
 担当名：財務・旅費・文書管理システム担当  
 内線：2298 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B25	文書・財務・旅費システム運用管理事業費			一般会計	総務費	総務管理費	一般管理費	総務事務集中管理費	
事業期間	平成16年度～	根拠法令	なし				戦略項目		
							分野施策		
<p>1 事業の概要</p> <p>業務システム（文書管理システム、財務会計システム、旅費システム等）は県の業務の基幹となるシステムである。業務システムは電子県庁の基幹であることから、安全・確実な運用を最優先して運用管理を行う。</p> <p>財務システムDWH等の改修費用節減に伴う減額                  (1) システム運用管理 44,547千円</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア システム運用管理 428,111千円                      システムの維持管理、運用委託、機器賃借                      (ア) 機器及びソフトウェア等賃貸借 211,605千円                      (イ) システムの維持・管理委託 143,389千円                      (ウ) データ処理（収納データ作成、MPN収納業務委託） 13,820千円                      (エ) その他の運用経費（空調機器等保守、回線使用料等） 11,645千円                      (オ) 財務・旅費システム機能強化改修 47,652千円</p> <p>イ 事務集中処理 68,399千円                      業務システムを利用する職員へのヘルプ、業務システムの操作研修、調整を要する旅費の代行入力、旅行用務先の登録及び旅費請求書の作成</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 業務システムを安定に稼働させ、稼働率100%、セキュリティ事故ゼロを目指す。                      イ 財務会計、旅費システムについて、制度改正に対応するとともに機能改善を図る。</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア 稼働率100%、セキュリティ事故ゼロ                      イ 財務会計、旅費システムの機能向上によりシステム価値が向上する。</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体の連携状況                      システム運用保守業務、ヘルプデスク業務及び研修業務の民間委託（民間のノウハウや専門知識の活用）</p> <p>(5) 補正予算の概要                      財務会計システムDWH等の改修費用節減に伴う減額</p>					
<p>2 事業主体及び負担区分                  (県10/10)</p>									
<p>3 地方財政措置の状況                  普通交付税（単位費用）                  (区分) 包括算定経費（細目）企画費                  (細目) 情報管理等費                  (積算内容) 電子計算機による情報処理、運用等</p>									
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員                  9,500千円×14.1人=133,950千円</p>									
				財 源 内 訳					
予算額								一般財源	補正後の 予算額
決定額	44,547							44,547	451,963
現計額	496,510							496,510	